アンサーバック *High Power Remote Controlled Engine Starter.*
リモコンエンジンスターター

CTB-820R

取扱説明書 Ⓐ

目次

お買い上げ頂いたお客様へ

この度は、セルスター アンサーバック リモコンエンジンスターターをお買い上げ頂きありがとうございます。「CTB-820R」の取付け、取り扱いにおきましては、この取扱説明書をよくお読みになり、内容を理解された上でご使用ください。

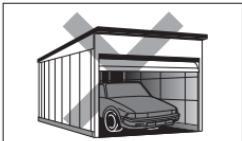
安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明していきます。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 危 険	誤った取扱いをすると「死亡または重傷を負うなど可能性が切迫して想定される」内容です。
⚠ 警 告	誤った取扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注 意	誤った取扱いをすると「傷害を負う可能性または物的損害※の発生の可能性が想定される」内容です。※物的損害とは、車両･家屋･家財などに関わる拡大損害を示します。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

❗	この表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。具体的な強制内容は、文章で示します。
🚫	この表示は、してはいけない「禁止」の内容です。具体的な禁止内容は、文章で示します。
⚠	この表示は、気をつけていただきたい「注意」の内容です。具体的な注意内容は、文章で示します。

お取付けできないお車があります

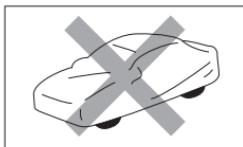
❗ 本機は国産12V仕様オートマチック車専用の製品です。
※外国車、24V仕様車、マニュアルミッション車への取付けはできません。

🚫 イグニッションキーでのエンジン始動時、アクセル操作やチョークレバー操作を必要とする車への取付けはできません。
※電子制御燃料噴射装置付の車専用です。

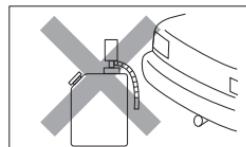
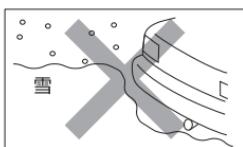
🚫 キーフリーシステム装備車、スマートキー装備車への取付けはできません。

🚫 本機は当社「車種別専用ハーネス適合表」に記載されている適合車種にのみ取付可能です。それ以外の車種への取付けはできません。

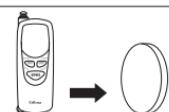
🚫 ホンダ車の雨滴感応ワイパー装備車への取付けはできません。

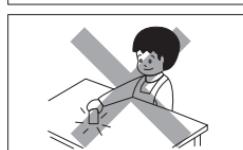
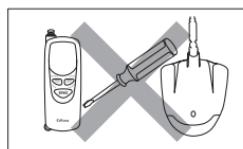
🚫 1989年5月以前で、シフトロック機構の付いていない車（フットブレーキを踏まずにシフトレバーを「P」から動かせる車）には使用できません。
※思わぬ事故の原因となります。

⚠ 危険

🚫 換気の良くない場所（ガレージ･駐車場）などでは絶対にご使用にならないでください。
※排気ガス中毒の原因になります。

お子様やペットを車内に乗せたままでご使用にならないでください。
※排気ガス中毒や事故の原因となります。

⚠ 危険

ボディーカバーをかけたままご使用にならないでください。
※爆発や火災の原因になります。

排気管が隠れる程の降雪時や積雪状態でご使用にならないでください。
※排気ガス中毒や事故の原因となります。

灯油、ガソリンなどの引火性のある物の近くでご使用にならないでください。また、火中に投入しないでください。※爆発や火災の原因になります。

⚠ 警告

走行するときは、リモコンでいったんエンジンを停止させてから必ずキーでエンジンを再始動させてください。
※思わぬ重大事故の原因になります。

本機を使用する際には、シフトレバーはパーキング（P）の位置でパーキングブレーキを必ずかけてください。
※車の暴走事故の原因となります。

坂道や傾斜面でのご使用や冬期にパーキングブレーキを解除してご使用になるときは、必ず輪止めをしてください。
※車の暴走事故の原因となります。

自動車整備などでボンネットを開けて作業をする場合、突然始動しないように、リモコン操作無効設定するか、リモコンの電池を抜いてください。
※誤動作による事故の原因になります。

車を整備・修理・車検などで預けたり、本機の取扱い方を知らない方が運転する場合、リモコン操作無効設定するか、リモコンの電池を抜いてください。
※誤動作による事故の原因となります。

リモコンは、取扱い方法を知らない方やお子様の手の届かない所ペットがいたずらしない場所に保管してください。
※誤動作による事故の原因になります。

分解・改造はしないでください。修理などは当社お客様相談窓口にご相談ください。
※発熱・発火・破損の原因となります。

キーでエンジンを再始動

リモコンの電池を抜いてください。

⚠ 注意

道路など公道上では使用しないでください。必ず安全の確保できる駐車場など私有地で使用してください。
※公道上は道路交通法違反となります。

本機は日本国内での使用を目的に生産されています。海外での使用は、当事国の法律により罰せられます。
※各国の法律により罰せられます。

本機に貼付されてる技術適合ラベルをはがしたり、適合ラベルの無いものの使用は法律で禁じられています。
※使用者が電波法により罰せられます。

リモコンを直射日光の当たる場所や暖房器具の近くなど極端に高温になる場所で保管または使用しないで下さい。
※変形、変色、故障の原因になります。

本機を水のかかる場所や湿気の多い場所で保管または水につけたり、水をかけたり、ぬれた手では絶対操作しないで下さい。
※火災や感電、故障の原因となります。

煙が出ている、変な臭いがするなど異常な状態のままでは使用しないで下さい。
※発火して火災の原因となります。

万が一、故障した場合は直ちに使用を中止して下さい。
※そのまま使用しますと火災や感電の原因となります。

長期間使用しないときはリモコンの電池を抜いてお子様の手の届かない所に保管してください。
※故障や事故の原因になります。

走行中に本機の操作をしないで下さい。
※事故の原因となります。

本機は特定小電力無線設備の技術基準適合証明を受けており、分解や改造は電波法で禁止されています。
※工事者は電波法により罰せられます。

本機を床に落としたり硬いものにぶつけたりしないでください。また「ひねり」や「曲げ」を与えないでください。
※変形･故障の原因になります。

リモコンのアンテナに強い力がかかるような持ち方をしないでください。また送信中にリモコンのアンテナに触れないでください。
※変形･破損･故障の原因や電波通信距離が短くなります。

本機を無線機やテレビラジオ、パソコン等の近くで使用しないでください。
※電波障害の原因になります。

医療用電気機器の近くでは使用しないで下さい。
※ペースメーカーやその他の医療用電気機器に電波による影響を与える恐れがあります。

本機のお手入れにベンジンシンナーなど化学薬品は使用しないでください。
※変形･変色･故障の原因になります。
※水または薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を絞って拭いてください。

⚠ 注意

本機を他のエンジンスターターやターボタイマーと併用しないでください。
※故障や誤作動の原因になります。

セーフティシステムを確実に作動させる配線設定は、必ず行ってください。
思わぬ事故の原因となります。

本機の取付けに関しては、必ず当社「車種別専用ハーネス適合表」をご確認の上、確実に取付けてください。

エアバッグの近く、運転や視界の妨げになる場所へは取付け、配線を行わないでください。
※誤った取付けは、交通事故、思わぬケガの原因となります。

オートライトコントロール装備車に使用する場合は、必ずライトスイッチを「OFF」にしてください。
※バッテリー上がりの原因になります。
※「AUTO」の位置で本機によるエンジン始動及びアフターアイドリングを行なうとエンジン停止後ライトが点灯したままになります。
※コンライトシステム（暗くなるとライトが点灯し、エンジン停止後ドアの開閉でライトが消灯するシステム）も同様です。

本機の取付けの際は必ず、お車のバッテリーの ⊖ マイナス端子を外してから、作業を行ってください。また、その際にはお車の電装品（時計やオーディオなど）の設定が変わったり、初期状態になることがありますので、本機の取付けが終了した後に、再度設定してください。

本機リモコンは生活防水仕様ですが、水につけたり、水をかけたり、ぬれた手では絶対操作しないでください。
※火災や感電、故障の原因となります。

純正リモコンドアロック（キーレスエントリー含む）装備車は、本機取付け後、本機が動作中に純正リモコンドアロックシステムが作動しない場合があります。

一部の車種において、車両のキーリモコンでドアロック操作をした場合、本機のリモコンドアロック機能が使用できなくなる場合があります。

オートチルト、マイコンプリセットステアリング（シート含む）装備車は、エンジン始動した状態でキーを差し込んだ場合、これらの機能が作動しなくなりますので、キーで再始動してください。

一部の車種では本機搭載のリモコンドアロック機能を使用することができません。詳しくは当社「車種別専用ハーネス適合表」をご覧ください。

本機搭載のイモビライザー機能は、車両盗難等に対して完全に防止できるということはありません。万が一、車両盗難等の被害があった場合でも、弊社ではその責任を一切負いかねます。

お車のバッテリーを取外した時などは、オートセーフティー学習機能や、リモコンによる各設定内容の再設定が必要になります。

本機の取付けにつきましては、専門的な知識を必要としますので、お買い求めになった販売店などでの取付けをおすすめいたします。

車にセキュリティシステムが装備されている場合、そのセキュリティシステムによって本機が使用できない場合があります。使用の可否については装備されているセキュリティシステムのメーカーへお問い合わせ下さい。

取付けの際は必ずアースコードの接続を確実に行ってください。アースコード接続が不完全ですと本機の動作が不安定になり大変危険です。リモコンによるエンジン始動が行われない、突然エンジンが止まる、走行中に突然本機が動作を始めるなど予期せぬ事故や故障の原因にもなりかねません。誤動作を防止するために必ず完全にアースコードを接続してください。

むやみにリモコンのボタンを操作しないで下さい。また、短期間であっても使用しない場合にはリモコン操作無効設定を行ってください。意図せずエンジンが始動するなどの場合があります。

本機の電波通信距離は、地形や天候、使用状況や周囲の状況その他により変化します。電波通信距離圏内であっても、通信距離が極端に短くなる場合があります。

本機付属の電池は、取付け後の動作確認用です。実際の使用時には新しい物と交換してください。

本機の誤った取扱いによる車両や車載品などの事故・破損・故障・損害等が発生しましても弊社では一切の責任を負いかねます。また、補償なども一切ありません。

本機の特長

◆使ってわかる便利機能

◇双方向通信　最大3,500m（市街地最大1,000m）
エンジン始動･停止などのリモコンによる遠隔操作（送信）と、リモコン操作に答える、お車からのアンサーバック（返信）が最大3,500mの双方向通信なので安心･便利･快適にご使用頂けます。”寒い朝や真夏の暑い日”のお出かけ前　”マリンスポーツやウィンタースポーツ”時にも最適です。

◇アンサーバック機能
リモコン操作による、エンジン始動･停止、ドアロック･アンロックなど車両側の動作を、リモコンへ返信し、確認できます。

◇3モードアイドリング
お客様の使用環境に応じ、リモコン操作によりアイドリング時間を選択する事ができます。

15分モード･通常使用（標準設定）のモードです。
30分モード･気温が25度前後の時期、最低気温5℃前後の時期。また、東北･北陸などの降雪地域での冬季使用に適したモードです。
45分モード･気温が30度以上の時期、最低気温0℃以下の時期。また、北海道やその他の豪雪地域、寒冷地での冬季使用に適したモードです。

◇セルモーター学習機能
エンジン始動時のセルモーターの動作時間を学習し、適正な動作時間で動作させます。これによってより確実に、より簡単な取付けが可能となりました。

◇セルモーター動作時間設定
リモコン操作により、エンジン始動時のセルモーターの動作時間を約0.3秒延長または、約0.5秒延長させる事ができます。

◇フルオートターボタイマー機能
走行時間に合わせてアフターアイドリング時間を「自動設定するオート」と「1分の時間固定」「ターボタイマーオフ」の3パターンをリモコン操作により選択･設定できます。

◇リモコン設定機能
3モードアイドリングの選択設定、フルオートターボタイマーの動作設定、ドライブセーフティドアロック機能の設定、セルモーター動作時間設定が、リモコン操作で行う事ができます。

◇チェック機能
リモコン操作でエンジンの状態や本機リモコンを使用したドアロック･アンロック状態、イモビライザーの設定状態などをチェックする事ができます。

◇アイコンLED表示リモコン
リモコンの表示部は見やすく分かり易いイラストやアイコンにLEDを配置しリモコン操作内容や各種アンサーバック内容を表示します。

本機の特長

◆使ってわかる便利機能

◇リモコン着メロ

リモコン操作時のアンサーバック音が、エンジンの始動時に♪アメリカンパトロール停止時に♪ザ･エンターティナーの曲が流れます。

◇アンサーバック音切替え機能

リモコン操作時のアンサーバック音を、メロディとブザー音で切替えて使用する事ができます。

◆愛車の安全を考えた安心機能&愛車を守るセキュリティ機能

◇リモコン操作無効機能

リモコン操作を無効にする事ができるので、カバンやポケットの中で不意にボタンが押され突然エンジンが始動するなどの思わぬトラブルを未然に防ぐ事ができます。

◇セーフティシステム

●オートセーフティ学習機能

マイコンがシフトポジションを自動的に認識し、「P」または「N」以外の位置では本機でエンジンを始動させることはできません。また、本機でエンジンを始動させている時に「P」または「N」以外の位置にシフトレバーを動かすと、エンジンを強制停止させます。これにより、面倒だった各安全装置の配線、取付け作業が不要となり、不用意なシフトレバーの操作や各安全装置の誤作動も解消し、安全性･信頼性が格段に向上しました。

●ブレーキ検出

ブレーキ検出線をパーキングブレーキに配線した場合、パーキングブレーキが解除されている状態ではリモコンによるエンジン始動ができません。またパーキングブレーキ　を解除するとエンジンは停止します。フットブレーキに配線した場合には、フットブレーキを踏むとエンジンは停止します。

●ボンネットオープンストップ機能（オプション ボンネットセンサー使用時）

ボンネットが開いていると、リモコンによるエンジン始動はできません。

●アイドリングブザー機能

本機の動作中に本体から約5秒間隔で「ピー」という音が鳴り、本機の動作中であることをお知らせします。

本機の特長

◆愛車の安全を考えた安心機能&愛車を守るセキュリティ機能

◇セルモーター誤作動防止回路内蔵
リモコンでエンジンを始動し、そのアイドリング中に誤ってキーをスタートの位置まで回しても、セルモーターは動作せずセルモーターの焼き付きや破損を防ぐことができます。

◇スリープ機能
お車の使用が14日間無い場合には、自動的にスリープモードに入ることで消費電力を抑え、車載バッテリーのバッテリー上がりを防止します。

◇キーコントロール学習機能
キー操作でエンジンを始動する場合と同じ手順（ACC→IG1→IG2→ST1→ST2などの順番）をマイコンが記憶して、リモコンによるエンジン始動時にそれを再現することで車の各装置の誤作動（ABSランプの点灯など）が防止できます。

◇イモビライザー機能
リモコン操作でイモビライザー機能を解除しない限り、お車のキーでもエンジンを始動させる事ができない、自動車盗難に対して有効なセキュリティ機能です。別売のドアロック用オプションを使用すると、ドアロックに連動して設定解除する事ができます。

◇威嚇（いかく）スキャナー機能
車載アンテナ前面のランプが点滅する事で、車外の不審者に対して威嚇（いかく）し防犯効果を高めます。

◆あったらいいなの充実オプション

◇ドライブセーフティドアロック機能（ドアロック用オプション使用時）
シフトレバーを「P」以外の位置にすると自動的にドアロック（施錠）し、エンジンを停止すると自動的にドアアンロック（解錠）します。

◇リモコンドアロック機能（ドアロック用オプション使用時）
本機によるアイドリング中は純正キーレスリモコンでドアロック操作する事ができない車種が有ります。このリモコンドアロック機能を使用する事でアイドリング中でも、本機のリモコンでドアロック･アンロックができます。

◇コールバック機能（ハザードアダプター使用時）
本機リモコンからのドアロック（施錠）操作時、お車のハザードランプを1回点滅アンロック（解錠）操作時2回点滅させて、動作した事をお知らせします。

◇イモビライザー装備車対応（イモビライザー車用アダプター使用時）
お車に純正イモビライザーが装備されていても、オプションのイモビライザー車用アダプター（PC-807IA）を使用する事で、本機を使用して頂くことができます。※別途、エンジンの始動ができるイモビライザーキーなどのスペアキーが必要です。

本機の特長

◆サポート機能

◇安心・3年保証
本機をお買い求め頂いた日から、3年間の動作保証をご提供致します。（取扱説明書に従い、正しく安全にお使い頂いている場合に限られます。また、リモコン電池等の消耗品は除きます。）

◇スリートライ機能
1回目のエンジン始動動作でエンジンが始動しなかった場合、最大3回まで自動でエンジン始動動作を繰り返します。

◇ディーゼル車対応
ディーゼル車にも安心してお使い頂けるように、グロータイムを約5秒に設定しました。（一部のディーゼル車には取付けできません。詳しくは当社「車種別専用ハーネス適合表」をご覧ください。）

◇個別IDコード採用
個々の製品に独自のIDコードを割り当ててある為、他の電波による誤動作などを防止できます。

◆オプション（別売）

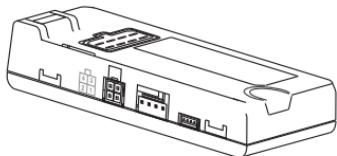
◇ドアロック用オプション 車種により3種のうちどれか1つを使用
ドライブセーフティドアロック機能、リモコンドアロック機能を使用する際に必要です。

●ドアロックコード PC-808DC
ドアロック用配線です。

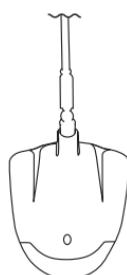
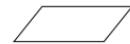
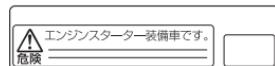
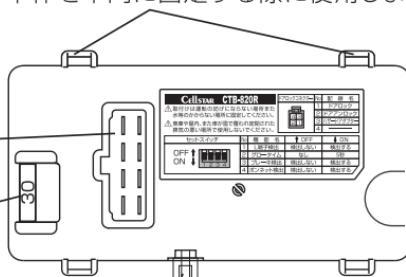
●ドアロックアダプター PC-809DA
ドアロック用配線です。

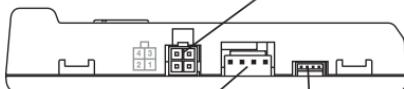
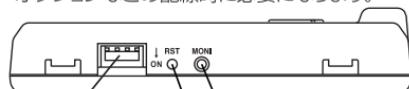
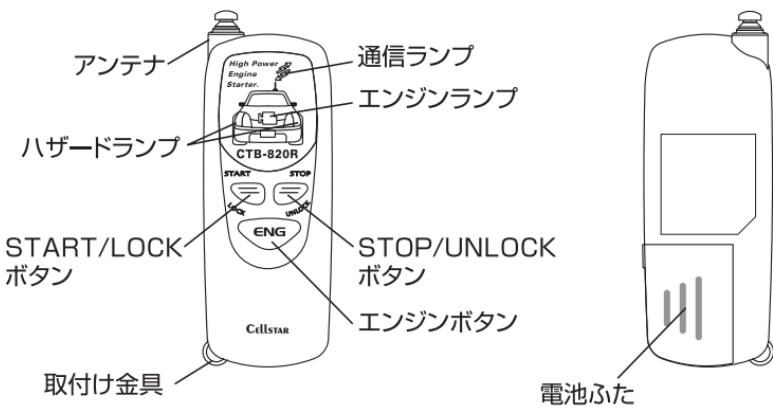
●多重通信車用ドアロックアダプター PC-810MA
トヨタ車の多重通信システム搭載車用ドアロック用配線です。

◇イモビライザー車用アダプター　PC-807IA
イモビライザー装備車に本機を取付ける際に必要となります。
※別途、エンジンの始動ができるイモビライザーキーなどのスペアキーが必要です。

◇ハザードアダプター　PC-804HA
コールバック機能を使用する際に必要となります。

◇ボンネットセンサー　CTB-P6
ボンネットオープンストップ機能を使用する際に必要となります。

梱包内容

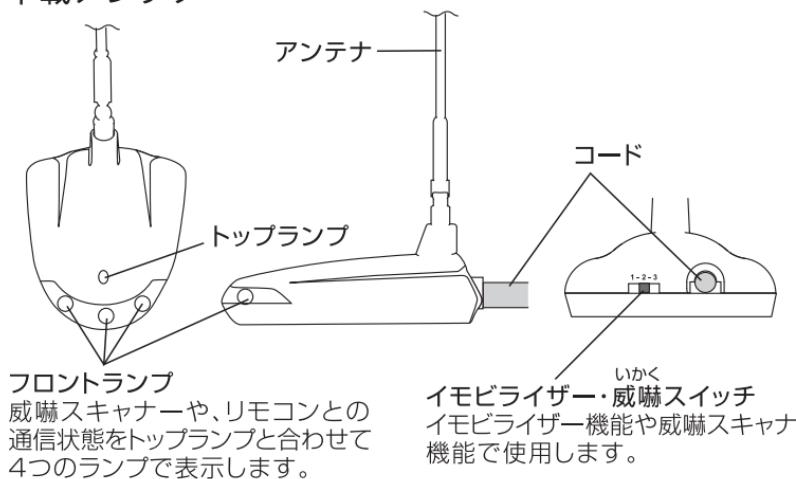
取り付け前に必ず梱包内容をご確認ください。

各部の名称

本体
固定用ベルト穴
本体を車両に固定する際に使用します。
車種別ハーネスキット
接続部
ヒューズ(30A)
ドアロックコネクター
別売のドアロック用オプションや
ハザードアダプターを接続します。
※本体に接続されているコネクターは
オプションなどの配線時に必要になります。
セーフティシステム
コネクター
アンテナコネクター
車載アンテナを接続します。
セットスイッチ
リセットスイッチ
モニターランプ
Cellstar CTB-820R
RST
MONI
ON
30

各部の名称

リモコン

車載アンテナ

フロントランプ
威嚇スキャナーや、リモコンとの通信状態をトップランプと合わせて4つのランプで表示します。

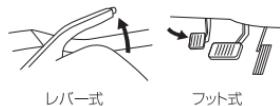
イモビライザー・威嚇(いかく)スイッチ
イモビライザー機能や威嚇スキャナー機能で使用します。

取付け方法

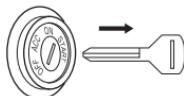
取付ける前に下記の点に注意して、本機の取付けを行ってください。

お取付けについて

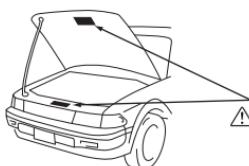
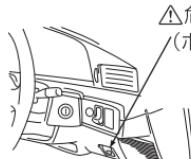
⚠注意

取付けには車種にあった車種別専用ハーネスキットが必要になります。当社「車種別専用ハーネス適合表」で専用のハーネスキットをお買い求めの上お取付けください。

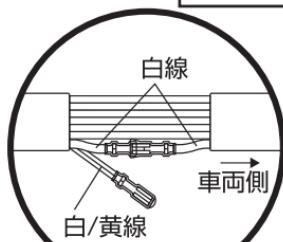
※車種別専用ハーネス適合表に記載されていない車種についてはお取付けできません。

⚠ 警告 ― 安全に作業をしていただくために ―

ここに記載された注意事項は取付け配線作業をする方への危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大なことですので必ず守ってください。

①シフトレバーをパーキング（P位置）にする。

②パーキングブレーキを確実にかける。

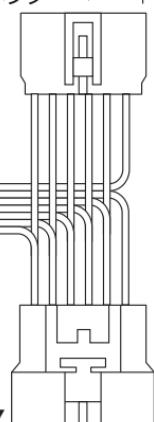
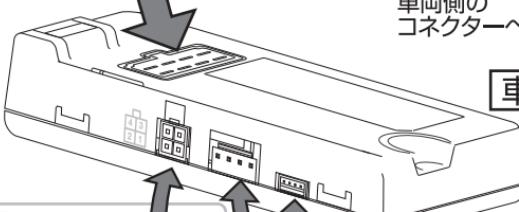
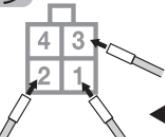
③キーを抜きます。

④ショート事故防止のため、バッテリーの⊖マイナス端子をはずしておきます。

⚠車に搭載されているコンピューターの関係で⊖マイナス端子がはずせない場合は配線作業に十分気を付けてください。

「⚠危険」ステッカーを貼り付けてください。

本機を取付けた車を第三者が使用した場合にも安全を確保できるように付属の危険ステッカーを目に付きやすい場所に必ず貼り付けてください。

取付け方法

本書の記載内容に従い確実に本機を取付けてください。

基本接続図

取付け方法

作業上わからないことや、ご不明な点がございましたら、最寄のお客様相談窓口またはカスタマーセンターにお問い合わせください。

ＦＡＸ情報サービス

※配線に困ったら、ＦＡＸ情報サービスをご利用ください。

取付け作業のお手伝い
FAX情報サービススタート!!
Help
おたすけ箱　24時間受付対応!!

046-275-1171

車種別情報No.リスト(目次)より

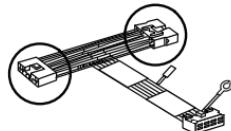
1. 046-275-1171 電話する（こちらはFAX情報サービスです。はじめに"0"を…）
2. 0-001を押す（はじめに"0"をダイヤルして次に送信先のFAX番号を…）
3. 0+あなたのFAX番号を入力する（電話を切ってお待ちください。最初から…）
4. 電話を切る
5. 目次のFAXが届く
6. 目次から車種を探す

NEXT　次に

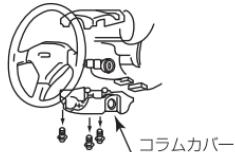
ハーネス適合表のFAX情報No.より

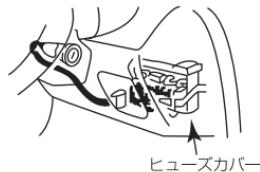
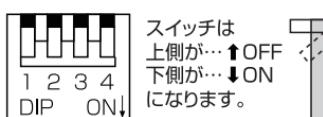
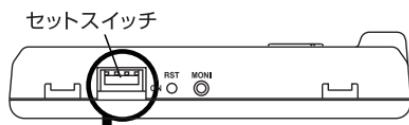
1. 046-275-1171 電話する（こちらはFAX情報サービスです。はじめに"0"を…）
2. あなたの車種番号を0-□□□と押す（はじめに"0"をダイヤルして次に送信先のFAX番号を…）
3. 0+あなたのFAX番号を入力する（電話を切ってお待ちください。最初から…）
4. 電話を切る
5. あなたの車の情報がFAXで届く
6. 終了

接続作業が終わり、本体に電源が入ると本体から「ピピッ、ピピッ・・・」と音が鳴ります。オートセーフティ学習機能の設定、またはブレーキ検出の接続・設定を行ってください。
また、音が鳴っている間、車載アンテナのトップランプが点灯して、本体が設定待ちになっていることをお知らせします。

取付け方法

本書の記載内容に従い確実に本機を取付けてください。

車種別専用ハーネスキットを接続します。

車のキースイッチから出ている配線の最初のコネクターを探してください。

コネクターは基本的に車種別専用ハーネスキットのコネクターと同形状ですので○印部を参考にして下さい。
※車種によりハーネスキットの接続する位置が異なります。

A.キーシリンダー直付け、もしくはキーシリンダー裏から直接コードが出ている場合
大部分の車はこのタイプです。接続するにはコラムカバーをはずしてから行います。

B.アンダーカバー内にある場合
接続するには、ダッシュボードのアンダーカバー内からコネクター部を引き出します。

C.アクセルペダルの横か上にあるヒューズボックス部にある場合

本体セットスイッチの設定

1.L端子の配線
●配線しない場合……………↑OFF
●配線する場合………………↓ON

2.取付けた車のエンジンの選択
（グロータイムの設定）
●なし（ガソリン車の場合）…↑OFF
●5秒（ディーゼル車の場合）…↓ON
注意:クイックグロータイプの車はOFF↑に設定してください。

3.ブレーキ検出
（パーキング/フットブレーキに配線する場合）
●配線しない場合……………↑OFF
●配線する場合………………↓ON

4.ボンネット検出
（ボンネットセンサー（別売）を配線する場合）
●配線しない場合……………↑OFF
●配線する場合………………↓ON

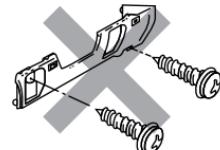
※数字はスイッチ番号になります。

取付け方法

本書の記載内容に従い確実に本機を取付けてください。

アースコード（黒線）の接続について

確実にアースコードを接続させてください。

⚠ 注意

アースコード接続が不完全ですと、本機の動作が不安定になり大変危険です。
リモコンによるエンジン始動が行われない、突然エンジンが止まる、走行中に突然本機が動作を始めるなど予期せぬ事故や故障の原因にもなりかねません。誤動作を防止するために必ず完全にアースコードを接続してください。

※アースの配線は、誤動作を防止する為にも確実に接続してください。

特に最近の車種は、軽量、防錆のために車両金属部がメッキ、塗装等で、伝導率が低いものを使用しているため、アースされていないネジ、金属がたくさんあります。十分ご確認のうえ、アースコードの接続を行ってください。

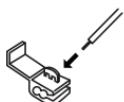
取付けに適している場所

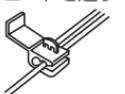
- ●バッテリーマイナス端子
- ●車の電装のアースポイント（コンピューター、リレーなどのアースコードを直接ボディに接続しているところ）

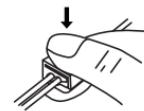
取付けに適さない場所

- ●アンダーダッシュやセンターコンソール等樹脂を止めているネジ（タッピンネジ等）
- ●チルトステアリング装備車で、ステアリングと一緒に動作（上下）する金属部分。

配線処理について

すべての取付けが終わったら、以下の要領で配線処理をしてください。

■インシュロックタイによる配線処理ダッシュボード内を通るケーブル類は、既存のハーネスなどに、付属のインシュロックタイを用いて共締めします。余分なケーブルは短くせず、束ねて共締めしてください。

■L端子の配線処理についてピラーとドアの隙間から車内にコードを引き込んだ場合ドアの開閉時にコードが噛まないようにして処理してください。

■使用しないコードはショートしないように必ずビニールテープ等で絶縁し、束ねてください。

安全装置・L端子コードなどの接続はエレクトロタップを使用します。				
1.コードを入れる	2.車体側の接続コードを通す	3.仮止めをする	4.プライヤー等で金具を押し込む	5.カバーをする

取付け方法（セーフティシステム）

オートセーフティ学習機能

この機能はシフトポジションがPまたはN以外の時、本機からエンジンを始動する事が出来ず、またエンジンが本機によるアイドリング中にシフトレバーがPまたはN以外の位置になるとエンジンを強制停止し安全を確保します。

⚠重要

このオートセーフティ学習機能の設定を行われていないと全ての機能が使用できません。必ず設定をしてください。

また、下記のような場合は、設定がすべて解除されます。必ずオートセーフティ学習機能の再設定を行ってください。
- ･車の修理、点検などでバッテリーをはずした。
- ･カーナビやオーディオの取付けなどにより本体やハーネスまたはアースを一時的にでもはずした。
- ･古くなったバッテリーや大容量の電装品の使用などでバッテリー容量が不足し、電圧が下がりすぎた状態のバッテリーを使用している場合。

本体から「ピピッ、ピピッ、…」音が鳴り続け、モニターランプが点滅しています。

※シフトレバーが P の位置にあることを確認します。

1. イグニッションキーをONにして下さい。
本体からの音が「**ピピピッ、ピピピッ、…**」に変わります。
※エンジン始動は行わないでください。

2. シフトレバーを P から R にします。
本体からの音が「**ピー、ピー、…**」に変わります。
※必ずフットブレーキを踏んで操作してください。
※音が変わらない場合、**5.**へ進んでください。

3. シフトレバーを R から P に戻します。
本体からの音が「**ピーピピッ**」となり認識終了です。
※音が変わらない場合、**5.**へ進んでください。

4. イグニッションキーをOFFにして下さい。　→　**設定終了**

5. 2.3.で本体の音が変わらない場合は、ブレーキ配線を行ってください。
シフトレバーを P に戻し、イグニッションキーをOFFにして、ブレーキ配線を行ってください。
配線後、本体のセットスイッチ3をON↓にしてください。

1) キーをONの位置にします。本体からは「**ピピピッ、ピピピッ、･･･**」と音が鳴ります。
2) 約3秒以上たったら、キーをACCの位置にします。音が「**ブブッ、ブブッ、･･**」に変わります。
3) キーをONの位置にします。
「**ブブブ、ブー、ブブッ、ピッ**」と音が鳴り、設定終了です。

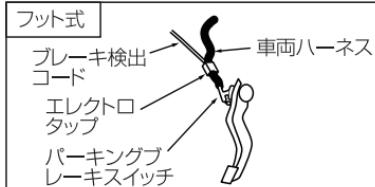
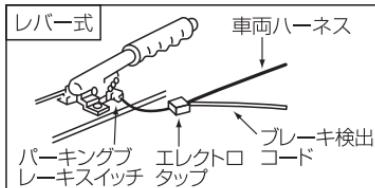
取付け方法　オートセーフティ学習機能

取付け方法（セーフティシステム）

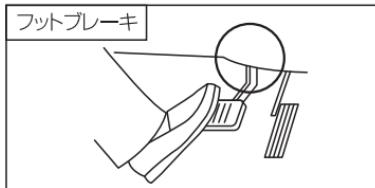
ブレーキ検出の配線

この機能はパーキングブレーキが解除されていると本機によるエンジンの始動ができません。また、エンジンが本機によるアイドリング中にパーキングブレーキを解除するとエンジンを強制停止します。フットブレーキへ配線した場合にはフットブレーキを踏む事で本機によるアイドリングを強制停止します。

車両のフットブレーキまたは、パーキングブレーキスイッチから出ているコードにブレーキ検出コード（灰色）を付属のエレクトロタップで接続します。

■パーキングブレーキコードの探し方

①パーキングブレーキ周辺のカバーを取り除きます。
②パーキングブレーキの付け根に付いているスイッチを探し、そのスイッチから出ているコードを探します。

●パーキングブレーキコードが1本の場合
右図のようにパーキングブレーキスイッチから出ているコードに接続します。

●パーキングブレーキコードが2本の場合
①キーをONの位置にします。
②検電テスターなどでパーキングブレーキをかけた状態で0V、解除した状態で12Vになるコードを探しそのコードに接続してください。

レバー式
車両ハーネス
ブレーキ検出コード
パーキングブレーキスイッチ
エレクトロタップ

フット式
車両ハーネス
ブレーキ検出コード
エレクトロタップ
パーキングブレーキスイッチ

■フットブレーキコードの探し方

※寒冷地などではパーキングブレーキを使用せずフットブレーキへの配線をお勧め致します。

①フットブレーキスイッチはブレーキペダルアームの根元付近にあります。

②検電テスターなどでブレーキスイッチから出ているコードを見つけブレーキを踏んだ時12V、踏まない時に0Vになるコードを探し、そのコードに接続してください。
（車のストップランプを点灯させるためのコードです。）

配線を行った場合は必ず本体セットスイッチ3をON↓にしてください。
※配線を行った後、本体セットスイッチの設定を行わないとこの機能を使うことができません。

ON

ボンネットセンサーの配線

別売のボンネットセンサーの取付けを行うと、ボンネットが開いているときにリモコンでのエンジン始動は行われず、作業中などの安全を確保します。

配線を行った場合は必ず本体セットスイッチ4をON↓にしてください。
※配線を行った後、本体セットスイッチの設定を行わないとこの機能を使うことができません。

ON

取付け方法についてはボンネットセンサー添付の取扱説明書をお読みください。

取付け方法

本書の記載内容に従い確実に本機を取付けてください。

グロータイムの設定（ディーゼル車のみ）

本機をディーゼル車に取付けた場合には、グロータイム（5秒）を設定します。

ディーゼル車に取付けた場合は必ず本体セットスイッチ2をON↓にしてください。
※お車がクイックグロー車の場合は、この設定は必要ありません。

ドアロックの配線

別売のドアロック用オプションの配線を行うと、本機のリモコンでドアロック（施錠）·アンロック（解錠）ができます。

取り付け方法については各ドアロック用オプション添付の取扱説明書をお読みください。

エンジンスターターの動作テスト

配線および設定終了後、動作テストを行います。

①リモコンに電池を入れてください。→（P22参照）
②車載アンテナを接続してください。
③それぞれの配線·設定が正しく行われていることを確認してください。
④シフトレバーを P （パーキング）にしてください。
⑤パーキングブレーキをかけてください。
⑥ボンネットを閉めてください。
⑦リモコンにてエンジンを始動してください。→（P29参照）
⑧リモコンにてエンジンを停止させてください→（P30参照）

■本体から「ピピピピピピピピ」と鳴って、エンジン始動ができない場合には、セーフティシステムが動作してエンジン始動ができない状態です。配線、設定を確認して下さい。→（P17,18参照）
●本体から「ピピッ、ピピッ･･･」と音が鳴り車載アンテナのトップランプが点灯している場合にはオートセーフティ学習機能またはブレーキ検出が配線設定されていない状態です。→（P17参照）

■下記の症状が出た場合、必要に応じて配線·設定を行ってください。
●セルモーターが引きずる。（エンジン始動がされてもセルモーターが余計に動作する。）→（P20,23参照）
●エンジン始動時にセルモーターが早めに止まってしまう。→（P20,23参照）
●アイドリング途中でエンジンが止まる。→L端子検出コードの配線（P20参照）

※本機リモコンでエンジンを始動しキーを「ON」にした場合、強制停止（セーフティシステム、リモコンによる停止操作）を行わない限り、設定アイドリング時間内（15分/30分/45分）は、キーを「OFF」にしてもエンジンは停止しません。安全の為に必ずセーフティシステムの配線、設定を行って下さい。

取付け方法

作業上わからないことや、ご不明な点がございましたら、最寄のお客様相談窓口またはカスタマーセンターにお問い合わせください。

L端子検出コード（始動信号検出コード）の配線

リモコンでエンジンを始動した時に、次の症状が出た場合で、セルモーター動作時間設定セルモーター学習機能を行っても解消されない場合に配線・設定が必要となります。

- ●セルモーターの引きずり。
- ●エンジン始動前にセルモーターが止まってしまう。
- ●アイドリングの途中でエンジンが止まってしまう。

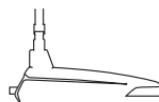
車両のL端子コードに、L端子検出コード（緑色）を付属のエレクトロタップで接続します。

■L端子の探し方

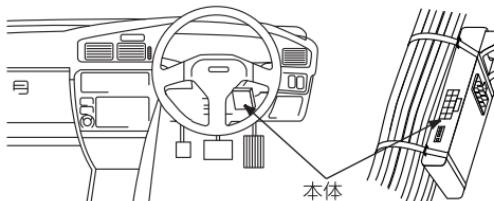
テスターでエンジンルーム内の発電機（オルタネーター）から出ているコード（バッテリーに行く太いコードではありません）のうち、イグニッションキーONで1V弱、エンジン始動後12Vの出るコードを探します。これがL端子です。

L端子配線方法の詳しい情報は、FAX情報サービス「おたすけ箱」で取り寄せてください。（P14参照）

配線を行った場合は必ず本体セットスイッチ1をON↓にしてください。
※配線を行った後、本体セットスイッチの設定を行わないとこの機能を使うことができません。

ON

車載アンテナの取付け方法

アンテナコードを本体のアンテナコネクターに接続します。

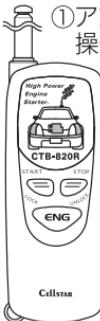
運転中の視界の妨げとならないダッシュボードのどちらかのコーナー等に付属の両面テープで確実に固定してください。

■**参考** 取付ける場合は、以下のような場所は避けてください。

- ●エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- ●不安定な場所。
- ●エアバッグの近く

本体を取付けます

運転の妨げとならないように、アンダーカバーの内部などにしっかりと固定します。
※走行中の振動で容易に動かないようにしてください。

車両の配線などと一緒に付属のインシュロックタイ（大）でまとめて固定します。

■**参考** 取付ける場合は、以下のような場所は避けてください。

- ●エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- ●直射日光の当たる場所。
- ●不安定な場所。

ご使用にあたって

本機のご使用にあたっての注意点です。

リモコンエンジンスターターについて

本機の基本的な動作　エンジン始動の場合

①アンテナを十分に伸ばし、エンジン始動操作を行います。

②エンジン始動操作信号

③エンジン始動開始

④アンサーバック信号

設定された時間アイドリングを行います。

⑤アンサーバック表示
ランプと音でお知らせします。

走行する時は

●アイドリング時間中に走行を開始する時は、必ず1度リモコンにてエンジン停止操作を行い、再度お車のキーにてエンジンを再始動させて走行してください。
※不要なトラブル、重大な事故の原因となります。

●アイドリング時間内では、1度キーをONにした後、OFFに回してもエンジンは停止せず、アイドリング時間経過後、自動的に停止します。エンジンを停止させるにはリモコンでエンジンを停止するか、セーフティシステムによる強制停止が必要です。

リモコン操作の注意点

1.リモコンのアンテナについて

リモコンを操作する時には、必ずアンテナを十分に伸ばしてください。縮めた状態ですと、電波の送受信の距離が極端に短くなりますので、通信エラーになりやすくなります。

2. 本文中のボタン操作の表現

『「・・・ボタン」を「○○」と鳴るまで押してください。』の場合は、指定されている音が出るまで確実にボタンを押してください。
※ボタンを押した時には「ピッ」または「プッ」,「ブッ」と音が出ます。

3. ボタン操作の注意点

ボタンを押して（送信）からアンサーバック信号を受信するまでのボタン操作は、全て無効です。
※アンサーバックの終了後に次の操作をしてください。

4. エラー音について

リモコンの操作後**「ピピピピピピ……」**（8または6回）音が発生した場合、**通信エラー**です。再度リモコン操作を行ってください。**「ピピピピピピ」**（6回）音が発生した場合は、**設定受付エラー**です。操作方法を再度確認のうえ、もう一度操作を行ってください。→（P42参照）

5. 送受信距離について

・リモコンの送受信距離は、見通しで最大3,500m、市街地で最大1,000mです。
・地下、鉄筋コンクリートの建物内部などは、送受信しにくいため、操作にあたっては十分にご注意ください。
・天候、使用状況や周囲の環境などによっては、送受信の距離が極端に短くなったりする場合があります。
・高圧送電線の近くでは、送受信できない場合があります。

リモコン電池の交換方法

電池がなくなってくると、リモコンの送受信などに影響がでます。こまめに交換をしてください。

リモコン電池の交換方法

1.リモコンの電池ふたを開けます。

プラスドライバーを使用し、電池ふたのネジをゆるめ、外してからふたを開けてください。
※ の辺りを押しながら開けてください。

電池ふたは、開けにくい場合があります。
角などで手を傷つけないよう、ご注意ください。

2.電池を入れます。

右図のように⊕プラス面を**電池ふた側**に向けて2個入れてください。
※電池は1個ずついれます。
（リチウム電池CR2032×2個）

電池のプラスとマイナスの向きを正しく入れます。

3.電池ふたを閉めます。

ネジを締めてください。

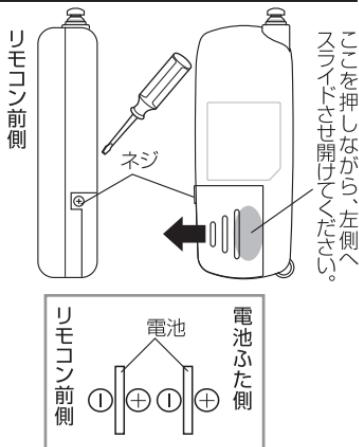
長期間使用しない時は、リモコンの電池を抜いて保管してください。
※液漏れをおこし、故障の原因になる可能性があります。

水につけたり、水をかけたり、又、濡れた手では絶対操作しないで下さい。
※火災や感電、故障の原因となります。

電池の交換時期について

●本機に付属の電池は、取付け時の動作確認用です。
　実際の使用にあたっては新しい電池をご使用ください。
●約6ヶ月を目安に、新しい電池と交換してください。
　※電池の寿命は、使用頻度・条件などにより違います。
●電池の寿命が近づくと、各種ボタン操作ができなくなります。お早めの交換をお勧めします。

電池の取扱いについて

■充電・ショート・分解・改造はしないでください。
■火の中に入れたり、加熱したりしないでください。
■他の金属や電池と混ぜないでください。
■濡らさないでください。
　※発熱・発火・破裂・火災・感電の原因になります。
■お子様の手の届かない場所に保管してください。
　※万が一お子様が飲み込んだ場合は、医師にご相談ください。
　※廃棄や保管はテープを巻き付けて絶縁してください。

リモコン設定機能

リモコン／本体

リモコンでエンジン始動した場合に、セルモーターが引きずったり、セルモーターの動作時間が短く、エンジン始動が出来ない場合に使用します。

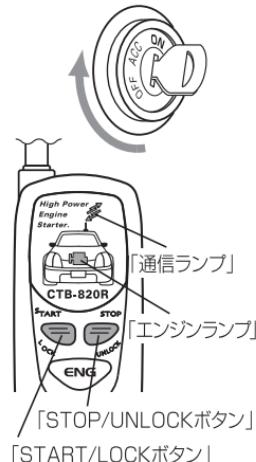
セルモーター動作時間設定・セルモーター学習設定

リモコンのアンテナを十分に伸ばしてください。

1. キーシリンダーにキーを差し込み、**ON**の位置にした状態で操作します。（エンジンはかけないでください）

2. 「START/LOCKボタン」「STOP/UNLOCKボタン」を同時に**「プピッピー」と鳴るまで**押します。**「ププ、ププ、…」**という音と「エンジンランプ」が点滅をつづけます。（約30秒間）

30秒以内につぎの操作をしてください。
※30秒を超えてしまったり、他の操作をした場合、**1.**からもう一度操作を行ってください。ボタン操作を行わず、30秒を経過した場合、**リセット（初期状態）**になります。

3. 「START/LOCKボタン」を押して設定を変えます。押すたびに設定時間が変更され、リモコン設定音でお知らせします。

セルモーター制御	リモコン設定音	本体設定終了音
約0.3秒延長	**ピッ** 、 ピッ、…	**ブッ**
約0.5秒延長	**ピピッ** 、ピピッ、…	**ブブッ**
セルモーター学習設定	**ピピピッ**、ピピピッ、…	**ブブブッ**、ブブブ、…

4. 「STOP/UNLOCKボタン」を**「プップー」と鳴るまで**押すと「通信ランプ」が約1秒点灯し、設定内容を本体に送信します。

送信後、本体から本体設定終了音（手順**3.**の表）が鳴ります。

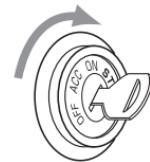
”セルモーター動作時間設定” を設定の場合は**5.**へ
”セルモーター学習設定” を設定の場合は**6.**へ進みます。

5.

「ピー」と鳴り「通信ランプ」が約1秒点灯し、設定されたことをお知らせします。

→キーを「OFF」にして終了です。

リモコン設定機能

リモコン／本体

リモコンでエンジン始動した場合に、セルモーターが引きずったり、セルモーターの動作時間が短く、エンジン始動ができない場合に使用します。

セルモーター動作時間設定・セルモーター学習設定

6. ”セルモーター学習設定”の場合は4.の操作後、本体から約30秒間「ブブブ、ブブブ、…」と音が鳴ります。本体から音が鳴っている間に、キーでエンジンを始動させてください。「ブーブブッ」と鳴り、設定されます。

   →キーを「OFF」にして終了です。

   ※この時のセルモーターの動作時間が記憶されます。

ボタン操作を誤った場合

途中でボタン操作を誤った場合は、「STOP/UNLOCKボタン」を押してください。操作前の状態にもどります。

リセット方法（初期状態）

リモコン操作を行い、”セルモーター学習設定”6.の本体から「ブブブ、ブブブ、…」と音が鳴っている間にキーをOFFにしてください。本体から「ブブブブブブブブ」と音が鳴り、リセットされます。

※セルモーター動作時間設定は「設定チェック方法」で確認することができます。（P27参照）

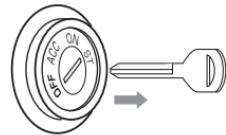
セルモーター動作時間設定

セルモーターの動作時間が短く、エンジンが始動できない場合に約0.3秒または0.5秒延長させる事ができます。

セルモーター学習設定

セルモーターの動作時間が短く、エンジンが始動できない場合や、動作時間が長くセルモーターを引きずっている場合に、セルモーター学習設定を行います。
キー操作でエンジン始動した時間を記憶し、その時間でエンジンを始動します。

リモコン設定機能

リモコン／本体

リモコン操作によりアイドリング時間を選択設定することができます。

アイドリング時間設定

工場出荷状態は”15分”に設定されています。

リモコンのアンテナを十分に伸ばしてください。

1. キーシリンダーからキーを抜いた状態または**OFF**の位置にした状態で操作してください。

2. 「START/LOCKボタン」「STOP/UNLOCKボタン」を同時に**「プピッピー」と鳴るまで**押します。**「ププ、ププ、…」**という音と「エンジンランプ」が点滅をつづけます。(約30秒間)

30秒以内につぎの操作をしてください。

※30秒を超えてしまったり、他の操作をした場合、**1.**から
もう一度操作を行ってください。

3. 「START/LOCKボタン」を押して設定を変えます。押すたびに設定時間が変更され、リモコン設定音でお知らせします。

時間	リモコン設定音	本体設定終了音
約15分	**ピッ** 、 ピッ・・・	**ピッ**
約30分	**ピピッ** 、 ピピッ・・・	**ピピッ**
約45分	**ピピピッ**、ピピピッ・・・	**ピピピッ**

4. 「STOP/UNLOCKボタン」を**「プップー」と鳴るまで**押すと「通信ランプ」が約1秒点灯し、設定内容を本体に送信します。

送信後、本体から本体設定終了音(手順**3.**の表)が鳴ります。

5.

「ピー」と鳴り「通信ランプ」が約1秒点灯し、設定されたことをお知らせします。

→キーを「OFF」にして終了です。

ボタン操作を誤った場合

途中でボタン操作を誤った場合は、「STOP/UNLOCKボタン」を押してください。操作前の状態にもどります。

※アイドリング時間の設定状態は「設定チェック方法」で確認することができます。(P27参照)

リモコン設定機能

リモコン操作によりターボタイマー機能を設定することができます。

フルオートターボタイマー機能設定

工場出荷状態は”OFF”に設定されています。

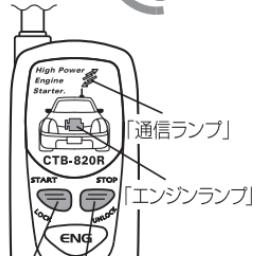
リモコンのアンテナを十分に伸ばしてください。

1. キーシリンダーにキーを差し込み、ACCの位置にした状態で操作します。

2. 「START/LOCKボタン」「STOP/UNLOCKボタン」を同時に**「プピッピー」と鳴るまで**押します。**「ププ、ププ、…」**という音と「エンジンランプ」が点滅をつづけます。（約30秒間）

30秒以内につぎの操作をしてください。
※30秒を超えてしまったり、他の操作をした場合、1.からもう一度操作を行ってください。

3. 「START/LOCKボタン」を押して設定を変えます。押すたびに設定時間が変更され、リモコン設定音でお知らせします。

ターボタイマー機能	リモコン設定音	本体設定終了音
OFF	**プッ** 、 プッ･･･	**プッ**
オート(最大3分)	**ププッ** 、 ププッ･･･	**ププッ**
約1分	**プププッ**、プププッ･･･	**プププッ**

●オート時の目安

走行時間	タイマー
1分未満	10秒
約15分	30秒
約30分	1分
約60分	2分
90分以上	3分

4. 「STOP/UNLOCKボタン」を**「プップー」と鳴るまで**押すと「通信ランプ」が約1秒点灯し、設定内容を本体に送信します。

送信後、本体から本体設定終了音（手順3.の表）が鳴ります。

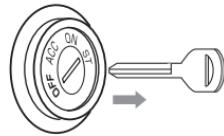
5.

「ピー」と鳴り「通信ランプ」が約1秒点灯し、設定されたことをお知らせします。
→キーを「OFF」にして終了です。

ボタン操作を誤った場合

途中でボタン操作を誤った場合は、「STOP/UNLOCKボタン」を押してください。操作前の状態にもどります。

※ターボタイマー機能の設定状態は「設定チェック方法」で確認することができます。（P27参照）

リモコン設定機能

リモコン／本体

リモコン操作でアイドリング時間やターボタイマー機能、セルモーター動作時間の設定状態を音で確認することができます。

設定チェック方法

リモコンのアンテナを十分に伸ばしてください。

1. キーシリンダーからキーを抜いた状態またはOFFの位置にした状態で操作してください。

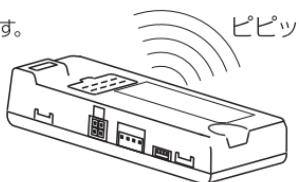
2. 「START/LOCKボタン」「STOP/UNLOCKボタン」を同時に**「プピッピー」と鳴るまで**押します。**「ププ、ププ･･･」**という音と「エンジンランプ」が点滅します。（約30秒間）

30秒以内につぎの操作をしてください。
※30秒を超えてしまったり、他の操作をした場合、1.からもう一度操作を行ってください。

3. 「START/LOCKボタン」を**「ピッピー」と鳴るまで**押すと「通信ランプ」が約1秒点灯し、設定内容を本体に送信します。

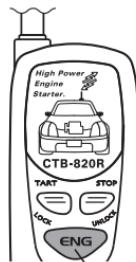
4. アンサーバック **「ピー」**と鳴り「通信ランプ」が約1秒点灯します。

「通信ランプ」
「エンジンランプ」
「STOP/UNLOCKボタン」
「START/LOCKボタン」

同時に本体から設定音が鳴り、設定内容をお知らせします。
以下のような順番で続けて設定音が鳴ります。
※セルモーター制御は、工場出荷状態では「ブー」とだけ鳴ります。

"ピー"、「アイドリング時間設定音」
→ "プー"、「ターボタイマー機能設定音」
→ "ブー"、「セルモーター動作時間設定音」又は
「セルモーター学習設定音」の順に音がでます。

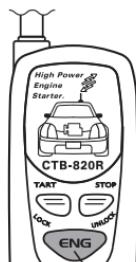
【例】

･アイドリング時間設定が　”30分”
･ターボタイマー機能設定が ”オート”
･セルモーター動作時間設定で　”延長0.3秒”の場合

"ピー"、　「ピピッ」
→ "プー"、　「ププッ」
→ "ブー"、　「ブッ」

リモコン操作無効機能　リモコン

リモコンボタンの操作を無効にすることで、誤作動の防止につながります。

リモコン操作無効の設定方法

■「エンジンボタン」を「ブッ、ブー、ブブブ、ブー」と鳴るまで約5秒間押すと、**リモコンボタン操作が無効**になります。
リモコンボタン操作を有効にする場合は、同様に「エンジンボタン」を「ブッ」と鳴る（復帰）まで、約5秒間押します。

アンサーバック音切替え機能　リモコン

アンサーバック音の切替え方法

1. 「エンジンボタン」を「ブッ、ブー、ブブブ」と鳴るまで約3秒間押します。指を放すと設定されたメロディまたはブザーが鳴ります。設定するたびに
「♪アメリカンパトロール」→「プピピッ」
→「♪アメリカンパトロール」･･･
と切替わります。

リモコンの取扱い上の注意　リモコン

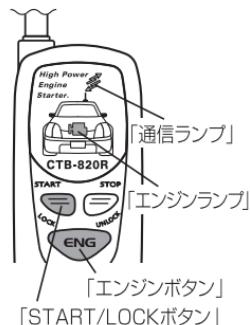
本機リモコンは生活防水仕様ですが、水につけたり、水をかけたり、ぬれた手では絶対操作しないでください。

エンジンの始動・停止操作　リモコン

リモコン操作でお車のエンジンをかけることができます。または、エンジンを止めることができます。

エンジンのかけ方

リモコンのアンテナを十分に伸ばしてください。

1. 「エンジンボタン」を押すと**「ブッ」と**音が鳴り、指をはなすと「通信ランプ」が約3秒間点滅します。

2. 「通信ランプ」の点滅中に「START/LOCKボタン」を**「ピッピー」と鳴るまで**押すと「通信ランプ」が約1秒点灯します。

3.

「ピッ」と鳴り「通信ランプ」が約1秒点灯。アンサーバック音が鳴り「エンジンランプ」が約2秒点灯します。

♪アンサーバック音♪
メロディ:「アメリカンパトロール」
ブザー:「プピピッ」

エンジンが始動します。

※エンジンの状態は「チェック機能」で確認することができます。(P35参照)

※アイドリング中は、本体から「ピー、ピー‥」と音が出て、本機が動作中である事をお知らせします。
※アイドリング中にセーフティシステムが動作して、本機の動作が停止した場合は、本体から「ピピピピピピピピ」と音が出ます。

スリートライ機能

1回目で始動しない場合、自動であと2回の始動を行ないます。3回目の動作でも始動しない場合は、「ピピ…」と本体が鳴り強制的にストップします。

❗走行するときは、リモコンでいったんエンジンを停止させてから、必ずキーでエンジンを再始動させてください。思わぬ大事故の原因となります。

注意

※キーが**ACC**や**ON**の位置になっているとエンジンの始動はいたしません。
その場合のアンサーバック動作は、
「ピッ」と鳴り「通信ランプ」が約1秒点灯。
次に**「ピッ」**と鳴り「エンジンランプ」が4回点滅します。

エンジンの始動・停止操作　リモコン

リモコン操作でお車のエンジンをかけることができます。または、エンジンを止めることができます。

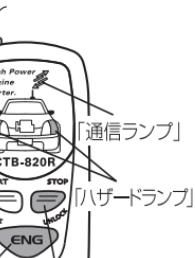
エンジンの止め方

リモコンのアンテナを十分に伸ばしてください。

1. 「エンジンボタン」を押すと**「ブッ」と**音が鳴り、指をはなすと「通信ランプ」が約3秒間点滅します。

2. 「通信ランプ」の点滅中に「STOP/UNLOCKボタン」を**「プップー」と鳴るまで**押すと「通信ランプ」が約1秒点灯します。

3.

「ピッ」と鳴り「通信ランプ」が約1秒点灯。アンサーバック音が鳴り「エンジンランプ」が2回点滅します。

♪アンサーバック音♪
メロディ:「ザ・エンターティナー」
ブザー:「ピーピー」

エンジンが停止します。

High Power Engine Starter.
CTB-820R
START　STOP
LOCK　UNLOCK
ENG

「通信ランプ」
「ハザードランプ」
「STOP/UNLOCKボタン」
「エンジンボタン」

※エンジンの状態は「チェック機能」で確認することができます。（P35参照）

注意

※お車のキーで、エンジン始動させている場合には、エンジンの停止操作はできません。その場合のアンサーバック動作は、
「ピッ」と鳴り「通信ランプ」が約1秒点灯。
次に**「ピッ」**と鳴り「エンジンランプ」が4回点滅します。

イモビライザー機能　リモコン/車載アンテナ

お車のキーでもエンジンを始動させることができない、自動車盗難に対して有効なセキュリティ機能です。

イモビライザー機能の注意点

■本機リモコンドアロック機能に連動しますが、ドアロック用オプションの接続を行わない場合でも、イモビライザー機能は単独で使用していただけます。

■本機リモコンでのドアロック操作で設定、ドアアンロック操作で解除になります。

■イモビライザー機能が設定されている状態では、本機リモコンからのドアアンロック操作をしない限り、お車のキーを使用してもエンジンをかけることはできません。

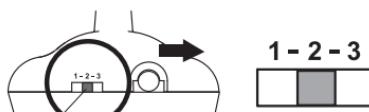
■お車のキーや、純正ドアロックリモコンなどから、イモビライザー機能を解除することはできません。

■キーがONやACCの位置にあるときに、イモビライザー機能を設定/解除させることはできません。

■イモビライザー機能の状態（設定または解除中）を確認するには威嚇スキャナーの点滅状態、チェック機能にて確認ができます。（「イモビライザー･威嚇スイッチ」3に設定の時）

■ターボタイマー機能が設定されている場合は、ターボタイマーが終了した後にイモビライザー機能が設定されます。

■イモビライザー機能が設定、解除状態のどちらであっても、本機リモコンでエンジン始動、停止を行うことができます。

⚠イモビライザー機能は車両盗難に対して有効な手段の1つですが、お車を車両盗難から完全に守れるわけではありません。
本機の使用状態にかかわらず、万一盗難などの被害、損害が発生しても弊社は一切の責任を負いかねます。またその場合の弊社補償なども一切ありません。

重要

※万が一、リモコンをなくされたり、解除操作を行ってもイモビライザー機能が解除されない場合は、キー操作によるイモビライザー強制解除を行うか、車載アンテナの「イモビライザー･威嚇スイッチ」を**1**にして、強制解除をしてください。この時、キーがONの位置にあると解除できませんので、ご注意ください。

イモビライザー機能使用の選択方法

車載アンテナ後部の「イモビライザー･威嚇スイッチ」を切り替え、イモビライザー機能を使用可能な状態にします。

「イモビライザー･威嚇スイッチ」

	1	2	3
イモビライザー	×	○	○
威嚇スキャナー	×	×	○

○:使用可能、×:使用不可

イモビライザー機能の注意点

イモビライザー機能　リモコン

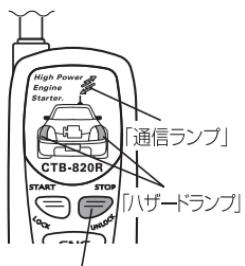
お車のキーでもエンジンを始動させることができない、自動車盗難に対して有効なセキュリティ機能です。

イモビライザー機能の設定操作方法

リモコンのアンテナを十分に伸ばしてください。

1. 「START/LOCKボタン」を**「ピッピー」と鳴るまで**押すと「通信ランプ」が約1秒点灯します。

2. アンサーバック　**「ピッ」**と鳴り「通信ランプ」が約1秒点灯。**「ピピピ」**と鳴り「ハザードランプ」が1回点滅します。

※**「ピコピコ」**と鳴り「ハザードランプ」が 左右交互に1回点滅した場合は、イモビライザー機能が使用不可になっています。

イモビライザー機能の解除操作方法

リモコンのアンテナを十分に伸ばしてください。

1. 「STOP/UNLOCKボタン」を**「プップー」と鳴るまで**押すと「通信ランプ」が約1秒点灯します。

2. アンサーバック　**「ピッ」**と鳴り「通信ランプ」が約1秒点灯。**「プープー」**と鳴り「ハザードランプ」が2回点滅します。

注意

※キーがACCやONの位置になっているとエラー音が鳴りイモビライザー機能の設定はできません。→（P42参照）

※”イモビライザー機能”は本機リモコンのドアロック·アンロック操作に連動します。

※車載アンテナの「イモビライザー·威嚇スイッチ」が2または3の位置でないとイモビライザー機能を使用できません。

※ドアロック用オプションを取り付けていなくとも、イモビライザー機能は使用できます。

イモビライザー機能

本体

お車のキーでもエンジンを始動させることができない、自動車盗難に対して有効なセキュリティ機能です。

イモビライザー強制解除方法

イモビライザー設定中にリモコンを無くした、リモコンの電池が無くなったなどの場合、強制的にイモビライザーを解除して、エンジンの始動を行うことができます。
※車載アンテナ「イモビライザー･威嚇スイッチ」を1にして解除することもできます。

1. イグニッションキーを10秒以上「**ON**」の位置にします。
本体のブザー音が「ピー」と鳴ります。

2. イグニッションキーを5秒以上「**OFF**」の位置にします。
本体のブザー音は「ピー」と鳴り続けています。

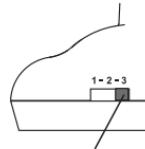
3. イグニッションキーを「**ON**」の位置にします。
本体の**ブザー音が止まります。**
そのまま5秒以上お待ち下さい。

4. イグニッションキーを「**OFF**」の位置にします。

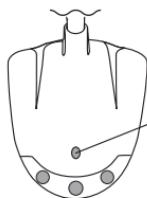
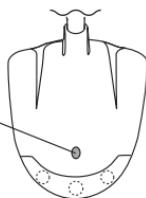
5. イグニッションキーを「**ON**」の位置にします。

6. イグニッションキーを「**OFF**」の位置にします。
「ピッ」と鳴ります。
解除操作終了です。

7. キーでエンジンがかかる事を確認して下さい。

威嚇スキャナー機能　車載アンテナ

お車のエンジンが停止中、車載アンテナのランプを光らせ、威嚇します。
※イモビライザー設定中は4つ全てのランプが流れるようにに点滅し、OFFの時はトップランプが点滅します。

威嚇スキャナーの設定

車載アンテナの操作で設定します。

1. 「イモビライザー・威嚇スイッチ」を3に切替えます。

【威嚇動作】
お車のエンジン停止中に、車載アンテナのランプが光り威嚇します。イモビライザー機能が働いている状態の時は全てのランプが流れるように交互に点滅を繰り返し、イモビライザー機能を設定していない時はトップランプのみ点滅します。

イモビライザー機能設定中（ドアロック中）　　イモビライザー機能解除中（ドアアンロック中）

注意

※キーまたは、リモコンでエンジン始動をすると、エンジンアイドリング中は威嚇スキャナーの動作を行いません。
※威嚇スキャナーの作動中の有無にかかわらず、万が一盗難・いたずらが発生しましても弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
※警報音や、アラーム音は出ません。

車載アンテナの受信表示　車載アンテナ

リモコン操作の信号を車載アンテナが受信するとトップランプが点滅して、信号を受信したことを表示します。

チェック機能

リモコン

リモコン操作で、お車のエンジン状態や設定状態をアンサーバックで確認できます。

エンジンの動作状態の確認方法

リモコンのアンテナを十分に伸ばしてください。

1. 「エンジンボタン」を押すと「ブッ」と音が鳴り、指をはなすと「通信ランプ」が約3秒間点滅します。

2. 「通信ランプ」の点滅中に「エンジンボタン」を「ブッブー」と鳴るまで押すと「通信ランプ」が約1秒点灯します。
アンサーバックで、お車の状態を表示します。

アンサーバック（返信）の音と光

お車の、エンジン状態をアンサーバックの「エンジンランプ」でお知らせし、続けてイモビライザー機能・ドアロックの設定状態を「ハザードランプ」でお知らせします。
※ドアロック用オプションが接続されていない状態でも、ドアロックの状態表示は行われます。

始めに**「ピッ」**と鳴り「通信ランプ」が約1秒点灯し、続いて以下の表示をします。

【エンジン始動判断中】※1
または、キーがACCやONの位置の時や、キーでエンジン始動を行った時。

「ピッ」と鳴り「エンジンランプ」が4回点滅します。

【エンジンアイドリング中】

♪アメリカンパトロール
または**「プピピッ」**と鳴り「エンジンランプ」が約2秒点灯します。

【エンジン停止中】

♪ザ・エンターティナー
または**「ピーピー」**と鳴り「エンジンランプ」が2回点滅します。

続けて

【イモビライザー設定中・ドアロック状態】

「ピピピ」と鳴り「ハザードランプ」が1回点灯します。

【イモビライザー使用不可・ドアロック状態】

「ピコピコ」と鳴り「ハザードランプ」が1回交互に点滅します。

【イモビライザー解除中・ドアアンロック状態】

「プープー」と鳴り「ハザードランプ」が2回点滅します。

※1:「エンジン始動判断中」とは、本体でエンジン始動を受信してから、エンジン始動を判断するまでの間のことです。

リモコンドアロック機能 オプション

リモコン操作でお車のドアをロックまたは、アンロックするこができます。
※この機能は、ドアロック用オプションを取付けた時に動作します。

ドアロック（施錠）の仕方

※キーがACCやONの位置になっているとドアロック操作はできません。

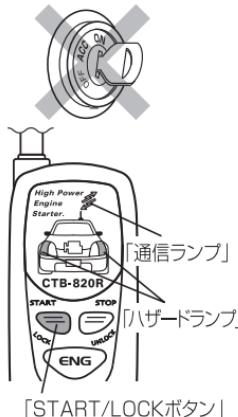
リモコンのアンテナを十分に伸ばしてください。

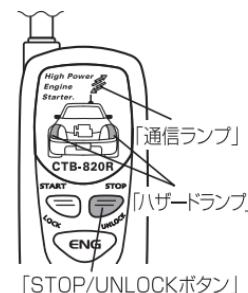
1. 「START/LOCKボタン」を**「ピッピー」と鳴るまで**押すと「通信ランプ」が約1秒点灯します。

2.

「ピッ」と鳴り「通信ランプ」が約1秒点灯。
1）**「ピコピコ」**と鳴り「ハザードランプ」が交互に1回点滅します。（イモビライザー使用不可の時）
2）**「ピピピ」**と鳴り「ハザードランプ」が1回点滅します。（イモビライザー使用可能の時）

※車載アンテナの「イモビライザー・威嚇スイッチ」の設定状態により、アンサーバック表示が変わります。

ドアアンロック（解錠）の仕方

リモコンのアンテナを十分に伸ばしてください。
※アンロックはお車の近くで操作してください。

1. 「STOP/UNLOCKボタン」を**「プップー」と鳴るまで**押すと「通信ランプ」が約1秒点灯します。

2. アンサーバック

「ピッ」と鳴り「通信ランプ」が約1秒点灯。
「プープー」と鳴り「ハザードランプ」が2回点滅します。

注意

※本機リモコンの”リモコンドアロック・アンロック操作”はイモビライザー機能に連動します。

※本機のドアロック機能は、純正のドアロック機能とは連動しておりませんので、本機リモコンでのドアロック操作では、お車のリロック機能やドアロックコールバック機能などは動作いたしません。

※本機ドアロック機能は純正ドアロック機能とは異なります。
したがって、お車のキーまたは純正ドアロックリモコンで操作を行った場合、本機ではその操作を認識できませんのでご注意ください。

※車両のバッテリー上がりやリモコンの電池切れなどの場合、リモコンで、ドアをアンロックすることができません。お車のキーは必ず携帯してください。

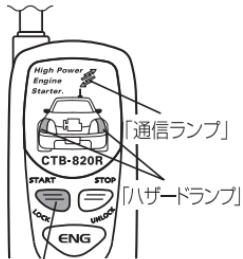
ドライブセーフティドアロック機能 オプション

エンジン始動後シフトレバーを動かすとドアロックし、キーが「ON」の位置以外（エンジン停止）になるとドアアンロックする機能です。※この機能は、ドアロック用オプションを取付けた時に動作します。

ドライブセーフティドアロック機能の設定方法

工場出荷状態は”OFF”に設定されています。

リモコンのアンテナを十分に伸ばしてください。

1. キーシリンダーにキーを差し込み、**ACC**の位置にした状態で操作します。

2. 「START/LOCKボタン」を**「ピッピー」と鳴るまで**押すと「通信ランプ」が約1秒点灯し、送信します。本体から**「ピッ」**と鳴ります。

3. アンサーバック
「ピッ」と鳴り「通信ランプ」が2回点滅、**「ププププププ」**と鳴り「ハザードランプ」が6回点滅します。
20秒以内につぎの操作をしてください。※2

4.

「START/LOCKボタン」を**「ピッピー」と鳴るまで**押すと「通信ランプ」が約1秒点灯します。

5. アンサーバック
本体から**「ピコッ」**と鳴ります。リモコンから**「ピー」**という音と「通信ランプ」が約1秒点灯します。→キーを「OFF」にして終了です。

ドライブセーフティドアロック機能の解除方法

リモコンのアンテナを十分に伸ばしてください。

1. キーシリンダーにキーを差し込み、**ACC**の位置にした状態で操作します。

2. 「STOP/UNLOCKボタン」を**「プップー」と鳴るまで**押すと「通信ランプ」が約1秒点灯し、送信すると本体から**「プッ」**と鳴ります。

3. アンサーバック
「ピッ」と鳴り「通信ランプ」が2回点滅、**「ププププププ」**と鳴り「ハザードランプ」が6回点滅します。
20秒以内につぎの操作をしてください。※2

4.

「STOP/UNLOCKボタン」を**「プップー」**と鳴るまで押すと「通信ランプ」が約1秒点灯します。
※**「ピピー…」**と鳴った場合、操作でのエラー音です。

5.

本体から**「ピーピー」**と鳴ります。リモコンから**「ピー」**という音と「通信ランプ」が約1秒点灯します。→キーを「OFF」にして終了です。

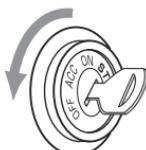
※2:20秒を超えてしまったり、他の操作をした場合、本体から**「ピピピピピピピピ」**とエラー音が鳴ります。手順**2.**からもう一度操作を行ってください。

ドライブセーフティドアロック機能　オプション

エンジン始動後シフトレバーを動かすとドアロックし、キーが「ON」の位置以外（エンジン停止）になるとドアアンロックする機能です。※この機能は、ドアロック用オプションを取付けた時に動作します。

ドライブセーフティドアロックとは?

ドライブセーフティドアロック機能

エンジン始動後シフトレバーを動かすとドアロックし、キーが「ON」の位置以外になると（エンジンを切る）とドアアンロックする機能です。

①本機リモコンからのエンジン始動後シフトレバーを「P」以外の位置にすると自動的にドアロック（施錠）します。

②キーが「ON」以外になると（エンジンを切る）自動的にドアアンロック（解錠）します。

注意

※エンジン始動後、最初にシフトレバーを操作した時に自動的にドアロックします。
2回目以降のシフトレバー操作では、自動的にドアロックしません。

※オートセーフティ学習機能が設定できない車両では、ドライブセーフティドアロック機能を使用できません。但し、アンロックは動作します。

コールバック機能　オプション

本機リモコンによるのドアロック･アンロック操作時に、お車のハザードランプが点滅してお知らせします。※この機能は、オプションのハザードアダプターを取付けた時に動作します。

コールバック機能とは?

コールバック機能

本機リモコンから、ドアロック操作を行うとお車のハザードランプを1回点滅させアンロック操作を行うとハザードランプが2回点滅します。

スリープ機能

本機の消費電力を抑えて、お車のバッテリー上がりを防止します。

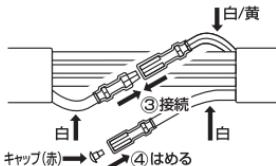
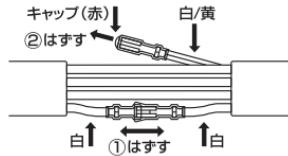
スリープ機能

14日間お車のエンジンを始動させない場合に、本機がスリープモードに入り、消費電力を抑える機能です。

スリープモードに入っている場合
　リモコン操作を受け付けません。（本機は動作しません。）

スリープモードを解除する方法
　1度、お車のキーでエンジンを始動すると、スリープモードは解除されます。

修理・点検時の扱い方

取り付け後、点検･修理などで本体をはずす場合の方法になります。

本体のはずしかた

取り付け後に修理･点検等で本体を外す場合、下記の処理を必ず行ってください。
行わないと、お車のキーを使ってもエンジンがかかりません。

本体のみをはずす場合　車種別専用ハーネスキットをお車に残して本体のみをはずす場合

①白線の途中にある(ギボシ)端子をはずす。
②白/黄線の(ギボシ)端子のキャップ（赤)をはずす。
③白線と白/黄線を接続する。
④外した白線の端子にキャップ(赤)をはめる。

本体と車種別専用ハーネスキットをはずす場合　本体と車種別専用ハーネスキットを一緒にはずす場合

ハーネスをはずした後は、本機を取付ける前と同じ状態に戻してください。

再度取付けする場合は、必ず車種別専用ハーネスキットを元の状態に戻してください。
※イモビライザー機能などが使用できなくなります。

お車の修理などで本体を外した場合やバッテリーを外した場合などにはオートセーフティ学習機能の設定が必要になります。また、リモコン設定機能での設定はリセットされますので、再設定が必要になります。

故障かな？と思ったら

修理やアフターサービスをご依頼して頂く前に次のことをお確かめください。

こんなとき	調べるところ	ページ
リモコンが反応しない。	■リモコン ・電池が消耗していませんか。 ・電池のプラスとマイナスを逆に入れていませんか。 ・リモコン操作無効機能が「無効」に設定されてませんか。	 22 28
エンジン始動操作をしてもエンジンがかからない。	■リモコン ・リモコン操作は正しく行いましたか。 ・他のボタンで送信後すぐにボタンを再操作していませんか。 ・アンテナを十分伸ばしましたか。 ・送信エラー、通信エラーになっていませんか。 ■本体 ・セーフティシステムの配線・設定を正しく行いましたか。 ・接続コネクターに正しく差し込まれていますか。 ■お車 ・シフトレバーは PまたはNの位置にありますか。 ・バッテリーが消耗してきていませんか。 ・キーがONまたはACCの位置になっていませんか。 ・セーフティシステムが動作していませんか。 ・セルモーターの動作時間は適切ですか。 ・パーキングブレーキはかけましたか。（ブレーキ検出を配線した場合） ・ボンネットが開いていませんか。（ボンネットセンサーを配線した場合）	 29 21 21 13,17,18 17 29 19 23,24 18 18
エンジン停止操作をしてもエンジンが止まらない。	■リモコン ・リモコン操作は正しく行いましたか。 ■お車 ・キーがONの位置になっていませんか。 ※車両ノイズの影響で、スタートの送信に比べストップの通信距離が短くなる場合があります。	 30 30
リモコンを操作してもエラー音になる。	■本体 ・スリープモードに入っていませんか。 ・本体と車載アンテナは正しく接続されていますか。 ■送信場所 ・送信可能な場所ですか。 ・他の同一周波数無線との混信の可能性があります。（しばらく待つか場所を変えてみてください。）	 39 13 21
リモコン操作のできる距離が短い。	■リモコン ・アンテナを十分伸ばしましたか。 ・電池が消耗していませんか。 ・アンテナに手などが触れていませんか。 ■送信場所 ・リモコンとお車の間に障害となる物がありませんか。	 21 22 21

故障かな？と思ったら

修理やアフターサービスをご依頼して頂く前に次のことをお確かめください。

こんなとき	調べるところ	ページ
リモコン操作をしても本体が反応しない。 （本体からピピッ、ピピッと鳴り続けている）	■本体 ・本体、車種別専用ハーネスキット、アースのどれかをはずしませんでしたか。 ■お車 ・修理・点検でバッテリーをはずしませんでしたか。 ・バッテリーが弱っていませんか。 ・大容量の電装品の利用で一時的にでもバッテリー容量が不足し電圧が下がりすぎたことがありませんか。 **オートセーフティ学習機能が解除されています。必ず再設定してください。→17 ページ**	14,17,39
ターボタイマーが作動しない。	■リモコン ・フルオートターボタイマー機能がOFFになっていませんか。	26
キー操作でセルモーターが回らなくなった。	■本体 ・本体のみをはずしたままになっていませんか。 ・イモビライザー機能を設定したままになっていませんか。	39 32
ドアロック/アンロックできない。 販売店の店頭、当社ホームページ（www.cellstar.co.jp）で適合をご確認ください。	■リモコン ・リモコン操作は正しく行いましたか。 ・送信可能範囲内ですか。 ■お車 ・ドアロック適合車ですか。 ・ドアロック用オプションは正しく接続されていますか。 ・キーがONの位置になっていませんか。	36 21 13 36
ドライブセーフティドアロック機能が動作しない	・オートセーフティ学習機能は設定できますか。 ※オートセーフティ学習機能が設定できない一部車両ではドライブセーフティドアロック機能を使用できません。 ・エンジン始動後、最初にシフトレバーを操作した時に自動的にドアロックします。2回目以降のシフトレバー操作では、自動的にドアロックしません。 ・設定は正しく行いましたか。	17 37
イモビライザー機能が作動しない。	■リモコン ・リモコン操作は正しく行いましたか。 ■車載アンテナ ・「イモビライザー・威嚇スイッチ」が1に設定されていませんか。 ■本体 ・本体、車種別専用ハーネスキットを外しませんでしたか。	32 31 39

故障かな？と思ったら

修理やアフターサービスをご依頼して頂く前に次のことをお確かめください。

こんなとき	調べるところ	ページ
イモビライザー機能が解除できない。	■リモコン ・リモコン操作は正しく行いましたか。 ・強制解除をしますか。 ・リモコンの電池が消耗してきてませんか。	32 33 22
設定したアイドリング時間で作動しない。	・設定は正しく行いましたか。	25
アイドリングが止まらない。	・エンジン停止操作を行って下さい。	30
本体のリセットスイッチを押した。	・オートセーフティ学習機能の再設定が必要です。 ・リモコン設定機能の再設定が必要です。	17 23
本体を外した。 ○エンジンがかからない。 ○車両のドアロック機能が使えない。	・車種別専用ハーネスキットの接続を変えてください。	15,39

エラー音について

通信エラー	「ピピピピピピ」（6回）音と、「通信ランプ」が10回点滅。	送受信エラーです。 電波障害などのエラーになります。 ※高圧送電線の近くでは送受信できない場合があります。
	「ピピピピピピピピ」（8回）音と、「通信ランプ」が10回点滅。	アンサーバックエラーです。 リモコン送受信距離の範囲内ですか。 ※天候、使用状況や周囲の環境などによっては送受信の距離が極端に短くなる場合があります。
設定受付エラー	「通信ランプ」が2回点滅、次に「ピピピピピピ」（6回）音と「ハザードランプ」が6回点滅。	イモビライザー操作（ドアロック操作）受付不可エラーです。 イモビライザー設定・解除の操作やその他ドアロック・アンロック設定・解除の操作時のエラーになります。
	「通信ランプ」が2回点滅、次に「ピピピピピピ」（6回）音と「エンジンランプ」が6回点滅。	リモコン設定機能（P23～27）の操作受付不可エラーです。 リモコン設定機能の操作中でのエラーになります。

アフターサービスについて

修理やアフターサービスをご依頼して頂く前に次のことをお確かめください。

保証書(別に添付してあります)

保証書は、必ず「販売店名·お買い上げ年月日」などの記入をご確認のうえお受け取りになり、保証内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げの日から3年間です。

修理を依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」の点検をしていただいても、なお異常のあるときは故障状況をなるべく詳しくご連絡ください。

●保証期間中のとき

保証書に販売店名、日付印がないと無効になります。

恐れ入りますが、お買い上げの販売店まで、保証書を添えて製品をご持参ください。保証書の規定に従って修理いたします。

●保証期間が過ぎているとき

お買い上げの販売店に、まずご相談ください。修理によって機能が持続できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

部品の保有期間について

補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の最低保有期間は、製造打ち切り後8年間です。この期間は、経済産業省の指導によるものです。

リモコンを紛失、破損したまたは追加したい場合

■万が一、リモコンやアンテナユニットの紛失や破損した場合は、リモコンまたはアンテナユニットのシリアルナンバーをお調べいただき、ご連絡ください。新たなリモコンと車載アンテナがペアになるようにIDコードを変更しなければなりません。新たなリモコン、車載アンテナの代金の他、技術基準適合証明手数料もご負担していただくようになりますので、くれぐれも紛失のないようにお願い致します。
また、リモコンを追加したい場合には、リモコンを1個まで追加する事ができます。

リモコンをご購入頂く際に、身分証明書のコピーが必要となります。

本機には、イモビライザー機能が搭載されている為、セキュリティ面からお客様に身分証明書のコピー提出をお願いしております。
あらかじめご了承ください。

アフターサービスについて

アフターサービスなどについてご不明な点は

お買い上げの販売店、または最寄りの弊社相談窓口にお問い合わせください。

各地のお客様相談窓口一覧

■北　海　道　地　区
　北海道セルスター工業株式会社　TEL.011-882-1225（代）　FAX.011-881-7251
　〒004-0843　札幌市清田区清田三条1-3-1

■東　北　地　区
　セルスター工業（株）仙台営業所　TEL.022-218-1100（代）　FAX.022-218-1110
　〒981-3117　宮城県仙台市泉区市名坂字原田158

■関　東　地　区
　セルスター工業（株）関東営業所　TEL.046-273-1100（代）　FAX.046-273-1106
　〒242-0002　神奈川県大和市つきみ野7-17-32

■中部・北陸地区
　中部セルスター工業株式会社　TEL.0583-70-6325（代）　FAX.0583-70-6328
　〒509-0131　岐阜県各務原市つつじが丘8-161-1

■関西・中国・四国地区
　関西セルスター工業株式会社　TEL.0727-22-1880（代）　FAX.0727-22-5575
　〒562-0004　大阪府箕面市牧落3-2-20

■九　州　地　区
　九州セルスター工業株式会社　TEL.092-552-5252（代）　FAX.092-552-5300
　〒811-1347　福岡県福岡市南区野多目1-11-8

■セルスター工業株式会社
　カスタマーセンター　フリーダイヤル　0120−75−6867　TEL 046−275−6867
　〒242-0002　神奈川県大和市つきみ野7-17-32

●名称、所在地、電話番号は変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

仕様

リモコン

適合技術基準：　特定小電力無線局　ARIB　STD-T67
送受信周波数：　429MHz帯の10波の内1波
通 信 方 式 ：　双方向通信方式
送 信 出 力 ：　10mW以下
受 信 方 式 ：　ダブルスーパーヘテロダイン方式
ア ン テ ナ ：　ロッドアンテナ（187mm）
動作温度範囲：　－10℃～＋60℃
使 用 電 池 ：　リチウム電池　CR2032×2
サ　イ　ズ：　29（W）×16.5（D）×76（H）mm　＜突起部含まず＞
重　　　量：　35g　＜電池含む＞

車載アンテナ

適合技術基準：　特定小電力無線局ARIB　STD-T67
送受信周波数：　429MHz帯の10波の内1波
通 信 方 式 ：　双方向通信方式
送 信 出 力 ：　10mW以下
受 信 方 式 ：　ダブルスーパーヘテロダイン方式
ア ン テ ナ ：　ラバーアンテナ（167mm）
動作温度範囲：　－20℃～＋70℃
電　　　源：　5V（本体から供給）
コ ー ド 長 ：　2.5m
サ　イ　ズ：　49（W）×76（D）×38（H）mm　＜突起部含まず＞
重　　　量：　73g　＜コード含む＞

本体

電 源 電 圧 ：　DC12V
動作温度範囲：　－20℃～＋70℃
サ　イ　ズ：　136（W）×66（D）×29（H）mm　＜突起部含まず＞
重　　　量：　136g

製造総発売元　全国自動車用品工業会会員――――――http://www.cellstar.co.jp－
CELLSTAR　セルスター工業株式会社
本社／〒242-0002 神奈川県大和市つきみ野7-17-32 TEL.046-273-1100(代) FAX.046-273-1106
PP-I134MN-A 2003.9